

OSAKA女性活躍推進事業【大阪府】

地域の実情と課題

●大阪府内における産業構造

府内に本社を置く企業の内、中小企業が占める割合は99.6%(約29.3万社)、うち常用雇用者数20人以下の小規模企業は84%(約24.7万社)。

●大阪府内における女性の就労状況・就業率

大阪府の就業率(15～64歳)は、全国ワースト3位と低い状況。
(国勢調査 平成27年抽出速報集計。大阪:61.4%、全国:64.7%)

●大阪府内における女性の活躍に関する課題

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成するという回答が、大阪府45.5%(全国44.6%)と全国に比べ高く、固定的性別役割分担意識の解消が課題。

事業の特徴

●「OSAKA女性活躍推進ドーン de キラリ フェスティバル 2019」の開催

女性活躍推進のホームグラウンドであるドーンセンターにおいて女性活躍推進に関連する様々な事業をOSAKA女性活躍推進月間(9月)に、2日間にわたり開催。

●企業向け女性活躍推進講座「OSAKA輝(キラリ)塾」の開催

働く場における女性活躍推進を促進するため、ドーンセンターにおいて啓発事業を実施。
・先進企業に学ぶ！女性活躍推進講座(1回)
・ロールモデルに学ぶ！働く女性のスキルアップ研修(2回)

●「ライフデザインの描き方セミナー」の実施

自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナー等を、高校・大学等で実施。(3カ所)

事業の効果

- 女性の就業や男性の家事育児参加等について府民に意識啓発を行うことで、女性の就業環境の改善が期待される。
- 企業経営者の意識改革を促すことで、女性が働きやすい職場環境の整備に取り組む事業所が増加することが期待される。
- 若者向けの啓発事業を実施することで、ライフイベントと仕事との両立について知識を深めるとともに、固定的性別役割分担意識の解消を図ることができる。

【効果検証】「男女いきいき・元気宣言」登録事業者数 令和元年度末 504社
(平成30年度末443社。対前年61社増)

目的・目標

●事業の目的

産官学等で構成する「OSAKA女性活躍推進会議」と連携のもと、企業の経営者や若者の意識改革にかかる啓発事業を充実・強化していく。オール大阪で女性の活躍推進に向けた機運醸成に努め、男女が持てる力を存分に発揮し、あらゆる分野で活躍できる元気な大阪をめざす。

●目標・達成状況

女性の就業率の向上:大阪府の女性の就業率(労働力調査・年平均)は、平成26年:44.8% ⇒ 平成30年:48.6%(3.8%上昇)と着実に上昇している。

連携団体

●OSAKA女性活躍推進会議

構成団体:大阪商工会議所、大阪府、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団、大阪労働局、公益社団法人関西経済連合会、公益財団法人21世紀職業財団(関西事務所)、近畿経済産業局、日本労働組合総連合会大阪府連合会、特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム

●大阪府男女共同参画推進ネットワーク

●大阪府「女性活躍推進庁内連携会議」

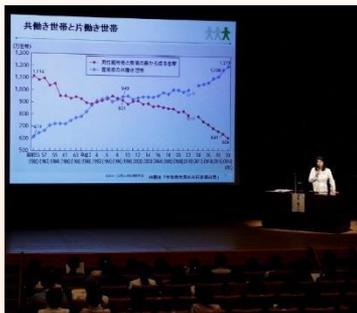
今後の課題

- 大阪府の女性の就業率は、上昇率が全国に勝り全国との差は縮まりつつあるものの、全国45位であり依然として低い。
- これまでの企業への働きかけに加え、就業している若い世代や、就業前の生徒・学生をターゲットとした事業が引き続き必要。

事業の概要

●OSAKA女性活躍推進 ドーン de キラリ フェスティバル 2019（令和元年9月20日・21日）

企業における女性活躍推進をテーマとしたメインシンポジウムや、若年層をターゲットとしたトークイベントをはじめ、各種セミナーや合同企業説明会、相談会など、多彩な女性の活躍応援イベントを展開。（事業参加者：計1,400人）



●企業向け女性活躍推進講座「OSAKA輝(キラリ)塾」

働く場における女性活躍推進を促進するため、啓発事業を実施。

◆先進企業に学ぶ！女性活躍推進講座(1回)

女性活躍に取り組む企業の裾野を広げるため、企業経営者、管理職、人事担当者等を対象としたセミナーを実施。（参加者 32人）



◆ロールモデルに出会える！社会人女性交流会(2回)

社内にロールモデルや同じ立場の女性社員がいない企業に、他の企業との交流の場を提供する交流会を実施。（参加者 計123人）



●ライフデザインの描き方セミナー（3カ所）

社会人ロールモデルによる体験談の発表やグループワーク等を通じ、自分らしい「働き方・生き方」を選択できる能力を培うことのできるセミナーを、高校、大学、専門学校 各1校で実施。（参加者 計217人）

